

高信頼性ICタグ

ボーイング787

最新鋭旅客機だから先端の技術で信頼性が高いと誰もが思っていました。これは旅客機に抱く万人の思いです。残念ながらボーイング787は異なっているようです。信頼性が高いとみなされたものが信頼性で落ち度があると大変なことになります。

2013年1月16日機内異臭で全日空ボーイング787が高松空港に緊急着陸しました。脱出時に乗客が3人けがをしました。原因はバッテリーとのことです。別での火災、油もれ、ガラス割れ事故もあり、今後大きな事故の前触れではないかと心配されます。

ソフトのバグと同じように新開発の機器は初期トラブルがあるものと一般に言われています。とは言え人命に関わることで、絶対事故を起こさないように万全を期すべきと思います。

旅客機のような複雑なものの製造や保守、交換では昔からシステムティックなアプローチがされていますが、高信頼度のICタグや端末それをサポートするソフトはますます重要となっていくものと思います。初期不良も絶対見逃さないシステム作りが必要です。